
ちょっと動くだけで

くさびら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちよつと動くだけで

【Nコード】

N2595C

【作者名】

くさびら

【あらすじ】

何もする気が起きない、動きたくない、そんな時に喉が乾いて・・・。

部屋は暗い。

ただ見えるのは夕暮れの中カーテンを閉め切った薄暗い部屋。

動くものは時計の秒針だけ。

聞こえるものは時計の秒針が動く音、冷蔵庫が動いている音。

とても寂しい世界。

カーテンの隙間からはまだ光が見える。

今外に出ればまだ夕焼けの照らす明るい世界にいける。

きつといろんな事やってみたくなる気持ちになれる。

でも、今日も行かない。

閉ざされた世界は寂しさも忘れてしまっただけ何も無い。

感じるものはただ「何もない」という平らな気持ちだけ。

苦しくも無い。寂しくも無い。嬉しくも無い。楽しくも無い。
あるのは自分への怒りと悲しみばかり。

意識が今日も思考の海へと落ちていく。

ずっとこのままでいたい。

血がたまり煮えたぎっている頭が重い。

このまま全てが無かったことになればいい。

丸まっている体。もっと丸まるように腕に力を入れる。

布が擦れる音。

ああ、僕が動くと音がする。やはり僕は確かにここにいるのだ。

ああ、喉が乾く。水がほしい。

動きたくない。動けば音がする。筋肉が伸び縮みして体に感覚が戻る。

感覚が戻れば意識が現実へ引っ張られていく。

ああ、でも喉が乾く。

このままでは水が飲めない。

体は自然と立ち上がり、水を求めて歩き出す。

足音がする。服が体に擦れる。空気が頬を撫でる。

筋肉が動き体に血が巡っていく。

ただ暗かっただけの部屋が少しずつ輪郭を取り戻していく。

蛇口の前に着いた。

手が蛇口に伸びる。

蛇口は冷たくて気持ちがいい。

頭で煮えたぎっていた血が体に降りていく。

ジャー……。コポコポ。

水がコップにたまる音がする。

ああ、早く水がほしい。

キュッ

水がたまった。

体が、意識が水へ集中していく。

コップが唇に当たる。冷たい、気持ちいい。

唇に水が触れる。冷たい。

喉が焼けるように熱くなっていく。

口の中に少しずつ水が広がっていく。

冷たい、早く喉へ。

口の中にたまった水を喉へと流していく。

ゴクッ

焼けた喉に水がふれる。

水が喉の熱を奪って体の中に流れていく。

快感が体に広がっていく。

水が触れた細胞が生き返っていく。

体が歓喜の叫びを上げる。

熱くドロドロと体を焼きながら巡っていた血が、冷えてサラサラになっ
ていく気がする。

もっと！もっと水を！

ゴクッ、ゴクッ、ゴクッゴクッゴクッ・・・。

ほしい、もっと。もっとほしい。

ゴクッ、・・・。

水を飲みきった。

喉はもう何も訴えない。

さっきの快感が嘘のように体は落ち着いている。

頭は冴え、暗いばかりだった部屋は輪郭を露にしていた。

大きく息を吸う。

キシキシと体が軋む。筋肉が伸びるのが気持ちいい。

両手を挙げて思いっきり体を伸ばす。

体の中の老廃物が無くなり、血がきれいになっていく感じがする。

大きく息を吐く。体の中の汚いものを全て吐き出すように。

「さつてと、夕飯でも買い出しにいくかな。」

荷物を取って靴を履く。

玄関を開けると外はまだ明るい夕暮れだった。

綺麗だ、と素直に思った。

（後書き）

たまに寝起きとかで何もする気が起きなくて動きたくないって説き
ありませんか？

そんな時にちよつと動くだけでそれまでのやる気の無さが嘘のよう
に消えていく感じを表して見たくて書いてみました。

お水のおいしさを宣伝しているわけではないのであしからず。（^

^ ; ）

どんな感想でもいいので聞かせてもらえるととてもありがたいです。
一言でもいいので感想をお願いします。 m（ ー ） m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2595c/>

ちょっと動くだけで

2010年10月15日22時54分発行